プラウド湘南平塚
PROUD SHONAN HIRATSUKA

No. 19-042-2024作成
新築
集合住宅

発注者	野村不動産株式会社
設計･監理	㈱安藤・間　一級建築士事務所
	㈱安藤・間　工事監理一級建築士事務所
施工	㈱安藤・間　東京支店

カテゴリー
A. 環境配慮デザイン　B. **省エネ・省CO2技術**　C. 各種制度活用　D. 評価技術／FB
E. リニューアル　F. 長寿命化　G. **建物基本性能確保**　H. 生産・施工との連携
I. 周辺・地域への配慮　J. 生物多様性　K. その他

地球にやさしい最新型分譲マンション

2050年カーボンニュートラルの実現へ向けた取り組み
昨今の共同住宅計画は世界の目指すカーボンニュートラル実現において、大きな追い風となる必要がある。とりわけ、時代をけん引する分譲マンション計画では社会的な責務であると認識し、国が掲げる住宅建築物における省エネ対策に貢献するべく各種認定を取得し、建築・設備的措置を行っている。

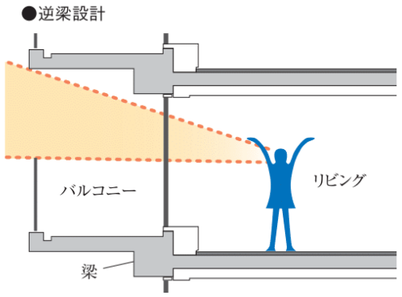
ZEH-M Oriented・低炭素認定の取得
ZEH-M Orientedを取得のため、計画段階から建具、給湯・床暖房等の設備機器、断熱等の仕様について省エネ計算を進め、詳細検討を行った。
加えて、低炭素認定も取得し、低炭素化への対策として下記を採用した。
・再生可能エネルギー利用設備の設置
　：太陽光発電設備
・劣化軽減：劣化対策等級3以上

開放感広がる逆梁設計
本建物の特徴として、メインのバルコニーに面した主採光側の梁をフロアレベルより上げた「逆梁設計」を採用している。上部バルコニーが庇として日射負荷を低減させながら、室内天井レベルの延長上に視野が広がり、開放感を感じる計画としている。特徴的な構造計画により、建物固有の価値を高め、長期にわたり快適で魅力のある建物を目指した。

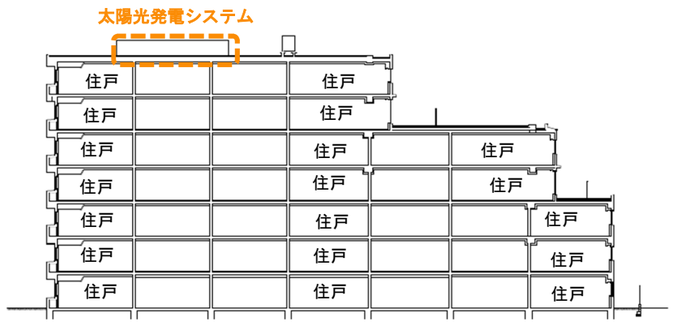
外観写真

太陽光発電設備

エントランス写真

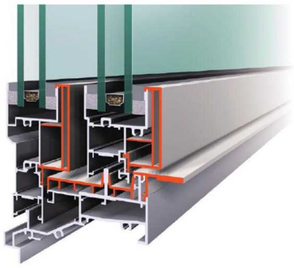


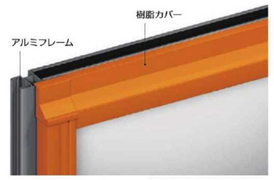
逆梁概念図



断面図

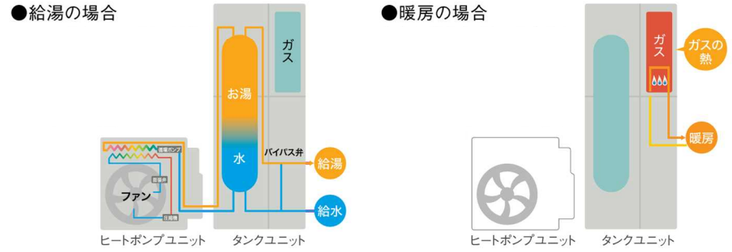
カーボンニュートラルの実現に向けた建築、設備的措置
1.　住戸サッシにアルミ樹脂複合サッシを導入
建物の外皮性能を大幅に高めることで空調設備不可の低減に寄与するため、断熱性の高いアルミ樹脂複合サッシを導入している。アルミ樹脂複合サッシを採用することで、複層ガラスに加え室内側フレームに樹脂を用いているため、通常のアルミサッシに比べ室内温度は高く保たれることで、結露を抑制している。





出典：不二サッシカタログ

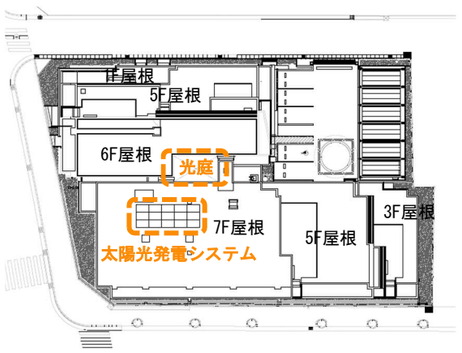
2.　ハイブリッド給湯器の導入
空気熱を活用したヒートポンプとガスの高効率給湯器を組合せたハイブリッド給湯・暖房システムを採用している。高効率給湯器による局所的なバックアップサポートにより、ポテンシャルを最大限に引き出し、光熱費の削減や省エネルギーを実現している。



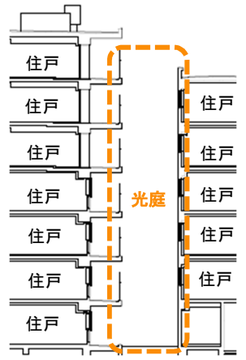
ハイブリッド給湯器　給湯の場合の概念図

ハイブリット給湯器　写真

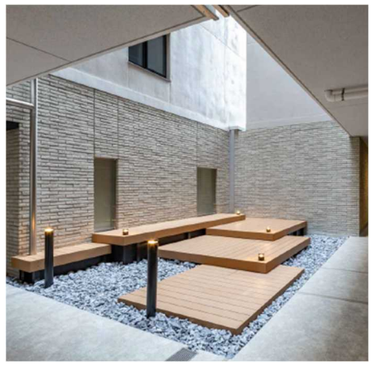
3.　光庭の計画
建物中心に開放廊下と建物外壁に囲まれるように光庭を配置。外壁を白系の明るい色とすることで天空光の反射を期待し、閉鎖的空間ながら、自然光による明るさの確保を実現している。また、開放廊下に囲まれている点から、通風もあり、開放的で健康的な空間を創出している。



配置図



断面図


光庭写真

設計担当者
統括：北川原望／建築：北川原望、中井千尋／構造：村山彰宏／設備：深澤匡、宮﨑崇文
工事監理：岡精教

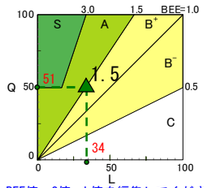
建物データ

所在地	神奈川県平塚市
竣工年	2024 年
敷地面積	1,732㎡
延床面積	5,609㎡
構造	RC造
階数	地上7階

省エネルギー性能

BEI値	0.66
$LCCO_2$削減	25 %
ZEH-M Oriented	

CASBEE評価
Aランク
BEE=1.5
2016年度版
第三者認証



BEE値・Q値・L値を編集してください

主要な採用技術（CASBEE準拠）
Q2. 3.　対応性・更新性（設備の更新性（維持管理面での工夫））
Q3. 2.　まちなみ・景観への配慮（建物配置や形態のまちなみとの調和）
LR1. 1.　建物外皮の熱負荷抑制（高性能ガラス、高気密、外断熱）
LR1. 2.　自然エネルギー利用（太陽光発電）
LR1. 3.　設備システムの高効率化（LED照明、センサー制御、ハイブリッド給湯器）
LR2. 1.　水資源保護（節水型機器）

※本事例シートおよび記載内容の二次利用を禁止します